



令和 4 年 11 月 29 日
午前・午後 2 時 23 分 受領

No. 1

議長	事務局長	係	令和 4 年 11 月 29 日

愛南町議会議長 原田 達也 殿

愛南町議会議員 石川 秀夫

一般質問通告書

次のとおり通告します。

(答弁一括方式 ・ 答弁分割方式)

質問の要旨	答弁を求める者
<p>1. 愛南町公立小中学校再編計画について</p> <p>平成18年度に学校統廃合に関する基本方針が定められ13校が閉校・再編され現在、小学校10校、中学校4校になっています。</p> <p>基本方針が定められた平成18年から人口減少やデジタル化の進展、やコロナ禍と大きく環境が変化しています。この様な中で令和3年8月12日学校統廃合検討委員会から教育委員会へ答申が提出され令和4年6月に再編計画が策定され7月にHP等で公表されました。</p> <p>持続可能で望ましい学校の教育環境の整備と充実に取り組む目的のために再編計画を策定されたとしております。</p> <p>令和4年6月の学校再編計画は、愛南町のあり方、将来を左右する大きな分水嶺となると思いますので、そこでお伺いいたします。</p> <p>(1) 令和4年の9月本会議の総務文教常任委員会の所管事務調査報告の中で、課題を提起し提言しています</p>	教育長

が、どの様に対応されるのか？答弁を求めます。

一、オンライン授業は、小規模校のデメリットを補う可能性があるので、更なる調査研究を進めて欲しい。

二、スクールバスでの長時間通学の児童の精神的、身体的な負担の軽減についても、スクールバスの運用方法を含めて検討してもらいたい。

三、学校の統廃合においては、小規模校が取り組んできた「地域と連携し、児童一人一人の個性を活かす特色ある教育」をしっかりと引き継いでいくことを提言している。

(2) この統廃合計画では中学校の 4 校のうち再編予定の 2 校内海中学と一本松中学の生徒数は本年度より増加する予定であるが、再編予定がない御荘中学校と城辺中学校は生徒数が減る予定となっている。

今後生徒数が減る予想で且つ距離的に車で 5 分も掛からない御荘、城辺中学校を統合し、距離的にも生徒の通学に身体的負担がある内海、一本松学校を残す考え方が妥当性があるように思われる。特に御荘中学校は津波の浸水域であり、リスクマネジメントの面からも御荘、城辺中学を統合して必要であれば新しい校舎建設も必要かと思われる。生徒数が増える学校を統廃合して生徒が減る学校を残す理由は何か？お伺いします。

2. デジタル田園都市国家構想への愛南町の取り組みについて

愛南町もマイナンバーカードの普及促進が町民のご理解の下 12 月末には 70%を超える予想になっていることは町長、町民課含めた職員の努力の賜物だと思います。政府は、現在都市と地方において生活や情報社会格差をデジタルトランスフォーメーション (DX) を用いて解消

町長

する豊かな国家を目指しており、各種補助金も設定されています。地域の課題をDXを利用して他地域にも横展開して豊かな地方創生、国家を目指すものです。現在は、マイナポイント等のインセンティブがあり普及しておりますが、今後はマイナンバーカードを利用し、真の愛南町住民サービスに変えなければなりません。去年、令和3年9月の本会議でも愛南町の取り組みについて質問させていただきましたが、具体的な答弁をいただけませんでした。今後の取り組みについて具体的に明確な答弁を求めます。

そこでお伺いします。

(1) 書かない窓口、オンライン申請が多く自治体で取り組みをされているが、愛南町の取り組みについてどの様に考え、計画されているのか？

(2) 防災情報や地域の暮らしに必要な様々な住民サービスを一つのアプリにまとめてスマホ等で提供する地域アプリや公民館、体育館等のオンライン予約、決済、電子書籍導入など公共施設の利便性を向上するためにどの様に考え、計画されているのか？

(3) 鳥獣害対策としてドローン等を活用して被害状況生息域の把握と猟友会、畏の会へのスマホ等を通じた情報提供についてどの様に考え、どの様に計画されているのか？

(4) 地域内の経済循環等を促進するためにプレミアム商品券等からデジタルポイント、デジタル通貨の導入についてどの様に考え、計画されているのか？

(5) 母子健康手帳、オンライン診療など住民のヘルスケア、医療向上等に資するデジタルを活用した健康、医療サービスの提供の取り組みについてどの様に考え、計画しているのか？

以上愛南町をデジタル化し豊かな生活を送る為に充実した住民サービスを受ける事ができる環境を整備する事を目的としてお伺いします。

3. サンパール観光株式会社の倒産に伴う旧サンパールの跡地利用について

旧サンパールは四国西南地域の唯一のレジャー施設として誕生し南レク、愛南町、宇和島市などが出資する、サンパール観光株式会社として1971年に設立されました。高速道路も開通してない状況で交通の便も悪く収益も見込めない中で2022年4月25日に破産手続きに入りました。町内外から倒産を惜しむ声も多く、今後の活用が期待されており、先般の議会報告会でもご質問をいただいているところです。現在の破産手続きの状況や愛南町の交流人口の増加を目的とした、今後の取り組み計画についてお伺いいたします。

(1) 愛南町の旧サンパール観光株式会社への出資比率は11.65%ですが、倒産による愛南町出資金の被害額及び現在の状況についてお伺いします。

(2) 町民からアイデア公募をして利用計画を策定する方法もあります。ある町民からは「城辺の青果市場を移設してテナントが入る施設を開設したりすれば良いのでは」とのご意見を伺いました。交流人口を増加させ“町民の元気”がでる施設利用が求められると思いますが、今後の考え方、計画についてお伺いいたします。

以上

町長